

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	12	終末期ケアについて、隣接の老人保健施設で作成した終末期のケアマニュアルを参考に組みを始めているが、吸引や夜間往診の医師、職員の看護技術等多くの課題がある。	事業所内で、現状行え得る『終末期ケア』を職員全員で話し合う。これを基にした「グループホームさわやかハウス終末期ケアマニュアル(素案)」を作成する。	老健・ホーム両施設の終末期ケアマニュアルを参考に看護職員による検討と素案の作成を行った後、SS会や業務研修会において終末期ケアマニュアルについて話し合い、さわやかハウス用を作成する。	6カ月
2	13	法人と地元自治会とは「災害協力協定」が結ばれているが、地元住民が参加されての災害・火災訓練は行われていない。また、さわやかハウスが開設してから、夜間を想定した訓練が実施されていない。	夜間帯における火災出火を想定した訓練を今年度内に実施して、法人内の連携や協力体制の確認と課題を把握する。地元自治会との協力については、運営推進会議等で今後のすめ方について協議してもらう。	夜間帯における火災発生に対処したマニュアルを策定する。マニュアルには、初期消火、通報・連絡、避難誘導等を明記する。地元自治会との連携については、自治防災組織会議に出席して、今後の連携について協議する。	6カ月
3					カ月
4					カ月
5					カ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。

評価結果の通知を受けた日から概ね2週間から30日以内に作成し、市町と評価機関に提出してください。(提出必須)